



富山県SDGs宣言実施状況報告書



2023年4月28日

企業・団体名 竹田運輸倉庫株式会社

代表者名 代表取締役 竹田 正和

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】 エネルギー消費の節減に関わるエコドライブと資源の再利用に努める。</p> <p>【実施状況】 ・エコドライブ：年間燃費実績は昨年度対比で0.7%改善した。 ・「ISO14001:2015」の維持申請(SDGs対応)は2023年03月06日に認証済。 ・「グリーン経営」の更新申請は2022年10月20日に登録認証済。 ・資源の再利用：FAX受信の紙出力と紙媒体によるFAX送信作業でペーパーレスの技能習得済者と未習得者がいる為、紙の排出がある。不要かつ機密情報に当たらない先述のFAX出力用紙や保存期限が経過した電子日報の紙媒体を裏紙としてインクジェット式プリンターで活用。トライアンドエラーで継続しているデジタル化の仕組みは、実験のプロセスを蓄積している。先述の蓄積はモジュール化されたデジタル仕組みの資源と考えている。よって、時間・労力・コストを最小化する為、モジュール化された過去の仕組みの再利用や組合せから新しい仕組みを確立している。2005年から紙媒体のIT化に取り組んでいる。2019年からOCR技術を活用。さらに採択しているデジタルツールを探求しながら、API連携(外部サービス連携)を積極的に実験(合理的に連携活用出来るサービスの確立を目指している)、特に紙媒体からの転記作業からデータ連携の活用へ移行している。労務時間管理(インターネット型デジタルタコグラフは2005年に採択、クラウド勤怠管理システムは2022年に採択)をデータとして抽出し、委託している社会保険労務士と2024年問題をはじめとする労務時間管理を連携管理、高い生産性をめざしている。</p>
2	<p>【目標】 「健康と安全」の認定継続とデジタル化を応用した作業負担軽減及び生産性向上から社員が長く働きやすい環境づくりに努める。</p> <p>【実施状況】 ・2023年03月08日に『健康経営優良法人2023』更新認定。 ・「DX認定事業者」とマンパワーに頼らない『簡単・持続可能』かつ『ヒューマンエラー、時間、労力、費用』を最小化したデジタル化の仕組み作りは、次の通り。 ①クラウド勤怠管理システムの勤怠データ等を給与ソフトへimportし、自動化を確立。 ②セキュア送信を活用した給与明細のWeb配布、請求書発送業務実施中。郵送で届く紙の請求書やメールに添付されるPDFの請求書等の請求書をオンラインで受領・データ化を採択→日本郵便の普通郵便翌日配達サービス廃止、エネルギー最小化(封筒代・封入作業・切手が不要) 電子契約書(製本作業・封筒代・封入作業が不要)を採択、実施中。2021年から活用しているCloudSign(クラウドサイン)は社外以外に社内の雇用契約にも活用済。 ③『LINEWORKS(企業向けのクラウド型ビジネスチャットツール)』と『kintone』を活用し、社内情報共有の仕組みを確立。 ④月次安全・衛生会議では『e-learning(東京海上ディーアール株式会社)』等を活用し、楽しく・能動的・継続性のある活動継続中。12項で構成された『e-learning(東京海上ディーアール株式会社)』は2023年03月04日に完了。</p>
3	<p>【目標】 「下水道管路」等、強靱なインフラ整備と住み続けられるまちづくりを持続可能にする役割をする為、資格の向上に努める。法規制を順守した大気の水質と廃棄物の管理に努める。</p> <p>【実施状況】 ・2022年10月29日に有資格者の等級(下水道管路管理主任技師)が上がり、2021年から更に1名増加した。 2022年度下水道関連の資格試験 2名申込済。 ・「グリーン経営」の更新申請は2024年08月に予定。 ・「ISO14001:2015」の2024年02月09日に更新審査予約済み。</p>

※宣言日から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。